

ITAA 会長立候補 所信

ローズマリー・ナッパー

ローズマリー・ナッパー女史紹介

ローズマリー・ナッパー氏は公的な場、あるいはボランティアの場において、リーダーとしての経験が豊富にあり、また小規模なビジネスを展開している会社の代表です。

彼女のTAの実践は、コーチ、コンサルタント、カウンセラー、ファシリテーター、と多様な役割において発揮され、そして多くの論文や本を書かれています。彼女はTAでは、最初にサイコセラピストとしてのトレーニングを受け、それから組織（1996）、教育（2004）、カウンセリング（2008）のトレーニングを受け、CTAの資格を、カッコ内の年度に取得しています。2004年にはTSTA教授資格を取得しました。そしてオックスフォード、ケンブリッジにおいて各分野とも5年間のトレーニングプログラムを行っています。それと同時に、大学の修士課程でTAを精神力動的理論の講座に関連して教えています。

www.TAworks.co.uk

ローズマリーナッパー女史 所信表明

ITAAはきわめて重要な存在です。その指導者としての私の目標は、21世紀に相応しい組織としての新しいアイデンティティを形作ることです。

どのように？それは以下のような充実した発展を、私たちが協力して作っていくことです。

*TAの考えに、他のさまざまなアプローチを取り入れ、TAにより豊かな実りをもたらすこと、現代風の思考をはぐくみ、他の心理学、例えばグループ関係学、肯定的心理学、関係性心理療法、組織発達ゲシュタルト、などと、彼らの大会あるいは我々の大会において交流交換してお互いの発展に寄与すること。

*先を見通して開拓し、各分野の中にあるたくさんのいいものをお互いに分かち合い、配慮し、支持していくこと。例えばコーチング、健康管理、地域発展、社会行動など。ブラジルでは裁判の仕事の中にTAを取り入れている。

*地域の組織との関係性を大切に育て、お互いの専門性を広げ発展させるために、卓越した質のトレーニングや出版物を作り出すこと。

*文化の持ち味の多様性を触媒として、文脈の通った概念と新しい展望をもたらす革新をめざす。例えば、ヒンズー教とTAのインドにおける会議、日本の“元気”という概念をカセクシスから考える、など。

*ITによるコミュニケーションは地球規模で人々を集合させた。これはメンバーにとってよりすべての過程が透明さをまし、コミュニケーションが容易になる。またより一層革新的な学習の機会を提供することが出来る。インターネットを用いた世界規模のTA101、より専門性を高めるための素材としてのデオなど。

ITAAは世界中にTAを供給する特別な立場にあります。これに対して、どのようにそれらを実現させていくかは、そのための収入を確保することが努力目標です。

従来は、会員の会費でそれを行ってきました。私たちはそれに関しても、より創造的になる必要があると考えています。

わたしはリーダーとして、どのようなものを持ち込めばいいのでしょうか？

それは新鮮な二つ目と、I T A Aに対する組織的な認識の目です。

私の主たる強みは以下のようなものだと思っています。好奇心、即座の直感力、学びへの愛です。ですから私は会議の企画を援助したり、ワークショップを主催します。創造性、率直さ、独創性、それらが組織の中に新しく取り入れられ、社会的理解力、政治的意識の革新となり、その上心地よい刺激と熱狂、エネルギーが加わるのです。私はこれらを協働させ組織としての3つの変革を4年以内に行うことを目標としたいのです。

1. 広めること
2. メンバーを元気づけるワクワクする刺激を提供すること
3. T Aの学究的、専門性の見通しを拡大すること。

私自身、T Aを国際的に指導することを通して、文化の多様性の視点から、その意味が明確になることを経験し、そこから非常に刺激を受けています。2008年には日本、南アフリカ、ブラジル、オランダ、インド、メキシコ、セルビアに行きました。個人的には私はラテンアメリカと強く結びついています。私のスペイン語とポルトガル語は勉強中です。I T A Aの潜在能力を最大にするために、私は喜んでその言葉での勇気ある会話で、時間を使います。

私は日常におけるT Aの持つ潜在的な力と、実践家としての視点からみるT Aの無限の深さに、強く惹かれています。私の1960年代の夢は文化を超えて人々が一緒になることでした。

今日その夢は実際的に意味を持ってきました。T Aの基底にあり、それを支えている原理は、私にとってより素晴らしい働く価値のある、実現可能なものに思っています。